

科目名	カウンセリング演習Ⅰ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	西 村 喜 文						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	心理的援助の基本的視点について講義し、心理学の基礎理論にたち自らが体験しつつ臨床心理学の世界を味わい人間理解ができればと考えている。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 自分自身の問題意識にもとづいた自己の振り返りを行うことができる。 2) コミュニケーションを深める方法を理解し、臨床心理学でいう「関係性」について学習する。 3) 心理的援助の基本姿勢を理解する。 4) カウンセリング体験を通して自己理解・他者理解を深める。 5) 心理療法について理解を深める。 6) カウンセリング演習を通して、心理援助の基本的態度を学ぶ						
学習方法	カウンセリング技法を用いた演習を行い「自己のありよう（自己像）」について理解させながら、人間理解と対人関係の在り方について理解を深めさせる。						
テキスト及び参考書等	参考書：「心とかかわる臨床心理」川瀬正裕他 ナカニシヤ出版 ・「心理・精神療法ワークブック」長尾博 誠信書房						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎	50		
授業態度	◎	◎	◎	◎	10		
受講者の発表	◎	◎	◎	◎	20		
授業への参加度	◎	◎	◎	◎	20		
その他	カウンセリング演習としてロールプレイや体験学習を取り入れた演習を行う。 課題レポートの内容を重視する。また、授業態度、発表の内容、出席状況で総合的に評価を行うが、正当な理由のない欠席は厳しく減点の対象とする。						
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	前期オリエンテーション						
第 2 週	心理的援助とは（援助の基本姿勢）						
第 3 週	援助のための理論Ⅰ（心理療法の歴史）						
第 4 週	援助のための理論Ⅱ（心理療法とは）						
第 5 週	援助のための理論Ⅲ（各種心理療法の概説）						
第 6 週	自己理解・他者理解Ⅰ						
第 7 週	自己理解・他者理解Ⅱ						
第 8 週	心理援助の方法（基本的態度）						
第 9 週	心理援助の方法（基本的態度）						
第 10 週	心理援助の方法（ロールプレイ）						
第 11 週	カウンセリング演習（ロールプレイ）						
第 12 週	カウンセリング演習（ロールプレイ）						
第 13 週	カウンセリング演習（ロールプレイ）						
第 14 週	レポート発表						
第 15 週	レポート発表						
第 16 週							
備 考	【授業外学修について】 各回終了後レポート課題を課するので、授業時のノート、資料を整理し提出できるようにしておく。						